

## 順心女子学園 中学校・高等学校

### 帰国生には最高の環境と条件（3）

校長補佐 小山 和智

順心女子学園では、今春「特進コース」を開設したほか、海外 AO 入試を随時実施しています。  
このシリーズでは毎回、「隠れた人気校」の素顔をご紹介します。

#### ●「学習司令センター」で、きめ細かい指導を保障

では、今年4月に正式に設置された「学習司令センター」とは、いったい何をやる機関なのでしょう。

ひとことでいえば、「すべての生徒の学習進捗状況を管理する」ということですが、一人ひとりの生徒について、入学してきた時、進級する時、あるいは学期ごとの成績やカウンセリング内容をデータベースにしていきます。そして、その個人情報をもフルに活用して、大学進学までの戦略を立て、実行していくわけです。

その生徒が持つ課題を把握し、その克服のためのプリントを作成し、個別指導すること。さらに翌日の「朝一テスト」を作成し、実施し、その結果を学習計画にフィードバックすること。また、設定した学習目標に達していることの確認テストを行い、その結果を生徒・保護者にも伝えて理解させること。目標が達成できていれば、次の目標を設定すること……要は、生徒自身が毎朝「やった！」という満足感を得ながら学習し、ステップアップしていく基盤を支えるのが「学習司令センター」なのです。

「学習司令センター」には、授業以外に一切校務をしない教員が4名常駐し、生徒個々に直接的に、また間接的に目標設定やプリント作成を行っています。個々の生徒の短期・長期の学習目標は、カウンセリングを通して設定され、個人メニュー（学習計画）として、教員すべてがいつでも照会できる形になっています。

#### 【お知らせ】

2007年度から順心女子学園は共学化され、特進コースのみ男子を受け入れることになりました。  
海外 AO 入試（随時）については、26ページをご覧ください。

順心女子学園 中学校・高等学校  
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-1-14  
TEL. 03(3444)7271 FAX. 03(3444)7192  
www.junshin.ac.jp

#### ●「たまたま国際生・・・」の感覚

「学習司令センター」が中心になって計画的、組織的に、そして継続的に、生徒の学力を向上させていくシステムは、すべての生徒のためのものです。一人ひとりの生徒に必要な指導を把握し、実行していくというシステムがあれば、たとえ帰国生や外国人であっても、教師のやることには何の変りもありません。

帰国生や外国人生徒を敬遠する学校では、「日本語が弱い」「生活態度に課題がある」などと言われるようですが、そういったことは国内育ちの生徒にもあるのです。順心女子学園では伝統的に帰国生や外国人を受け入れています。それぞれの生徒の持つ課題を一つひとつ克服していく指導体制がまずあって、「たまたま、この帰国生には、この指導が必要」と考えるだけです。教員の感覚では、何も特別なことをしているわけではありません。

別掲の「英語補習校だより」にもあります通り、異なる発想の教育を受けてきていること、英語を母国語として身につけていることなども、その生徒の個性であって、課題ではありません。それらを大事に伸ばしていくことが、学園に期待されていますし、使命でもあると考えます。

#### 小山 和智

おやま かずとも

順心女子学園中学・高校 校長補佐



海外子女教育振興財団の外国語保持教室主任のほか、ジャカルタ日本人学校事務長、クアラルンプール日本人学校国際交流ディレクター、啓明学園国際教育センター所長を歴任。

現在は「グローバル化社会の教育研究会」の事務局長としても活躍中。

<http://www.toshima.ne.jp/~kyoiku/>